

## ズーラシアスクール これまでとこれから

－多様な動物と自然、私たちとの関わりについて考える総合力を次世代へ－

川口芳矢

公益財団法人横浜市緑の協会 よこはま動物園

ズーラシアスクールはよこはま動物園で実施している学校形式の年間連続教育プログラムである。「野生動物や自然環境の多様な状況を知ることで、自分と環境との関わりを考える総合力を次世代へつなぐ」ことを目的とし、小学校4～6年生を対象に事前申し込み制で定員を30名としている。平成23年度から継続実施しており、平成29年度には7期生を迎えた。適宜見直しを行いながら、現在は9月～翌年3月まで毎月1回、合計7回の授業を実施しており、最終回の卒業式では生徒による卒業発表が行われる。授業は飼育担当や獣医師、教育普及担当から成るプロジェクトメンバーで実施しており、各回でテーマを定めている。授業内容は、講師からの講義だけでなく動物観察やゲーム、意見交換による議論や発表などを含むよう工夫している。生徒からの反応は良く、「知らなかったことを知ることができた」「これからは自分にできることをしていきたい」「もっと学びたい」などの声が聞かれ、楽しみながら多様な動物と環境、自分との関わりを学ぶ場となっている。さらに、生徒の保護者にも好評で「帰宅すると学んだことを色々と話してくれる」「子どもだけでなく大人も考えさせられる内容だ」「継続して学ばせたい」などの意見が寄せられた。また、外部の教育関係者もズーラシアスクールのESD要素に興味を示しており、「プログラムを公開して欲しい」などの要望も聞かれる。ズーラシアスクールは平成28年度までで6期の卒業生を輩出しており、約180名が巣立った。今後はさらに深く学びたい卒業生を対象にしたプログラムの開発や、卒業生が授業を運営するなど指導者の育成に向けたプログラム展開ができたかと考えている。